

びわこ少年剣道錬成大会申し合せ事項

1 開会式について

- (1) 受付が終了したチームは更衣後、8時15分までに試合場に集合し係員の指示に従ってください。

整列の仕方は、各団体別に選手・監督の順に縦列に整列すること。監督は選手を速やかに整列させ、監督も入場行進すること。

- (2) 集合する時は、剣道着、袴、胴、垂れをつけて集合すること。
- (3) 集合時に、各チームの団旗は持って入らないこと。

2 基本錬成について

- (1) 基本錬成は、全員参加すること。
- (2) 基本錬成は、剣道具をつけて、切り返し、打込み稽古等を中心に行う。
- (3) 審判員は、全員元立ちとして参加すること。

3 試合錬成について

- (1) 基本錬成終了後、個人戦を一斉に開始し、優勝戦まで実施する。
- (2) 個人戦出場者は、自分の出場会場を確認し、補助役員の指示に従うこと。
- (3) 団体戦整列時は、全員面、小手をつけ、竹刀を携行すること。

4 安全管理

- (1) 選手の健康管理については、万全を期すこと。
- (2) 剣道具等の着装は、正しく行うこと。
- (3) 竹刀検量は行わないが危険防止のため、監督及び選手は徹底して竹刀の点検を行うこと。

5 その他

- (1) 各選手は、剣道具の垂中央に黒または紺色に白で所属団体名を明記した布製の名札を必ず着けること。
- (2) 目印（紅・白）は、各参加団体で準備すること。
- (3) 面紐の長さは、結び目より40cm以内とする。
面紐の長いものは、切断することがある。
- (4) 応援は、指定された場所で行うこと。
各団体の監督は、責任を持ってこれを徹底すること。
- (5) 各団体監督（1名）は試合場への入場を認めるが、それ以外の入場は認めない。
ただし、監督の服装は、審判員の服装に準じ、必ず監督証を明示のこと。
- (6) サブ道場については、基本錬成終了後各監督の責任のもと、他チームとの練習試合に使用してもよい。

以上